

個人投資家向け
会社説明
コムチュア株式会社 (証券コード：3844)

ささやきをカタチに。



2019年6月29日
代表取締役会長CEO
向 浩一

1

会社概要



1-1 自己紹介

コムチュア株式会社
代表取締役会長 CEO
創業者

むかい こういち
向 浩一

1946年12月9日生まれ

1970年4月 データプロセスコンサルタント入社
(現アイエックス・ナレッジ)

1985年1月 当社設立 代表取締役社長 (38才)

2011年4月 当社代表取締役会長 CEO (現任)

2018年5月 藍綬褒章 (新規産業功績) 受章

座右の銘 知行合一 (陽明学)

趣味 マラソン・ゴルフ

第1回東京マラソンを
完走しました! ▶



新体制で更なる成長と 企業価値の増大を目指します



代表取締役会長 CEO
向 浩一

代表取締役社長 COO
澤田 千尋

2019年4月1日をもって代表取締役社長COOが交代し、
新体制をスタートさせました。
代表取締役会長CEOとの二人三脚体制は継続し、
コムチュアのDNAと経営理念を堅持致します。

1-3 会社概要

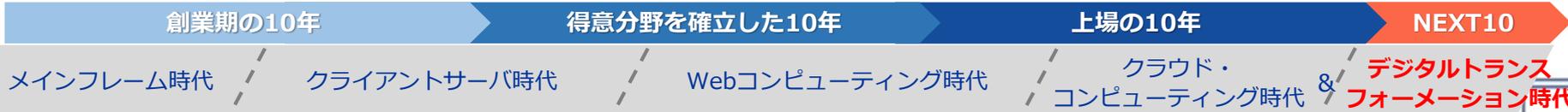
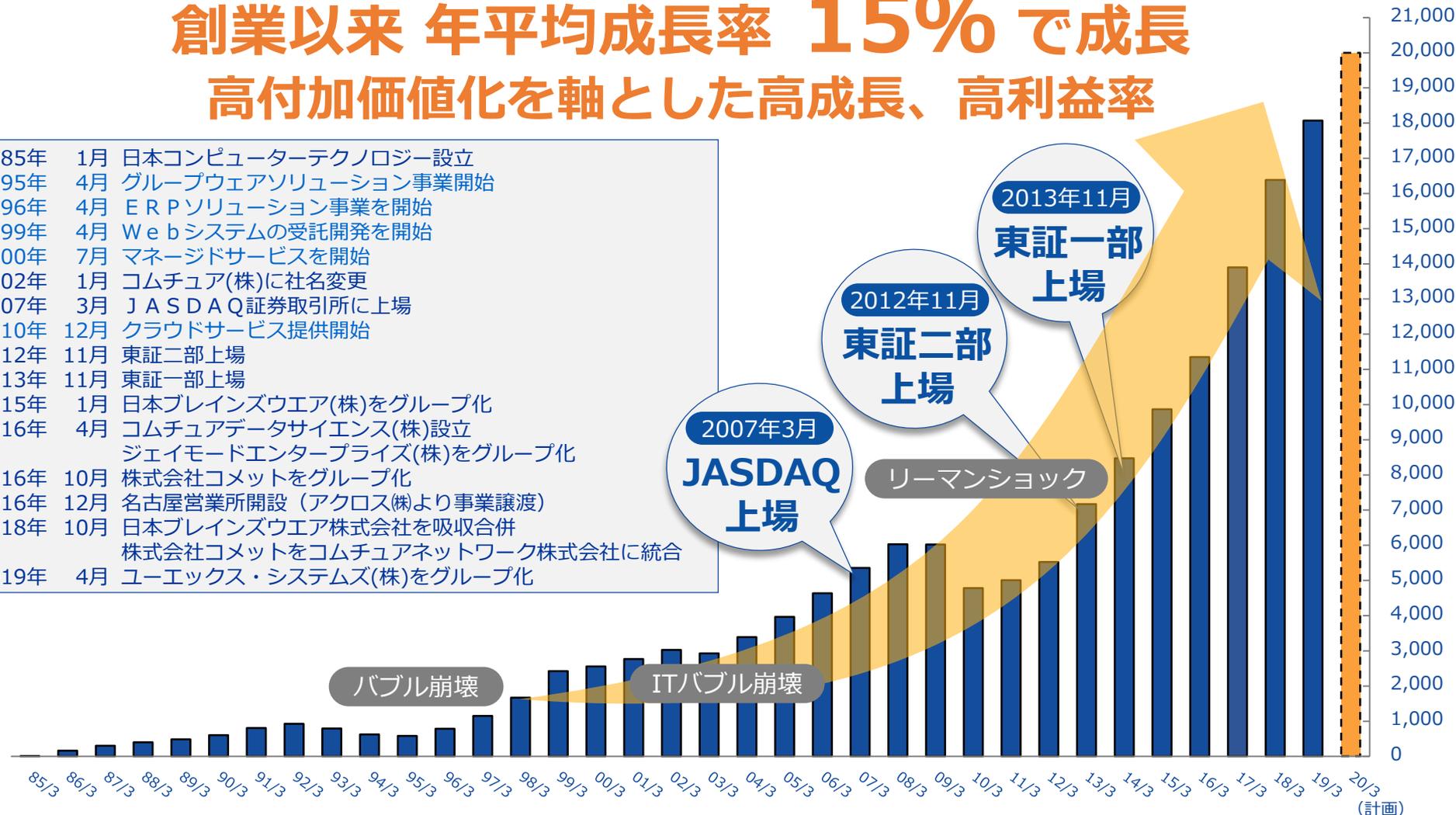
会社名	コムチュア株式会社		
代表者	代表取締役会長 CEO	向 浩一	
	代表取締役社長 COO	澤田 千尋	
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー 8F/9F		
設立年月日	1985年1月18日		
事業内容	クラウドを中心とした、企業向けシステムの コンサルティング、提案、導入、運用		
資本金	1,022 百万円 (2019年3月末)		
グループ会社	コムチュアネットワーク、ユーエックス・システムズ コムチュアマーケティング、コムチュアデータサイエンス		
売上	18,070 百万円 (2019年3月期)		
	20,000 百万円 (2020年3月期 業績予想)		
連結常利益	2,575 百万円 (2019年3月期)		
	2,874 百万円 (2020年3月期 業績予想)		
従業員数	1,270 名 (2019年4月1日)		



1-4 これまでの歩み

創業以来 年平均成長率 15% で成長
高付加価値化を軸とした高成長、高利益率

- 1985年 1月 日本コンピューターテクノロジー設立
- 1995年 4月 グループウェアソリューション事業開始
- 1996年 4月 ERPソリューション事業を開始
- 1999年 4月 Webシステムの受託開発を開始
- 2000年 7月 マネージドサービスを開始
- 2002年 1月 コムチュア(株)に社名変更
- 2007年 3月 JASDAQ証券取引所に上場
- 2010年 12月 クラウドサービス提供開始
- 2012年 11月 東証二部上場
- 2013年 11月 東証一部上場
- 2015年 1月 日本ブレインズウェア(株)をグループ化
- 2016年 4月 コムチュアデータサイエンス(株)設立
ジェイモードエンタープライズ(株)をグループ化
- 2016年 10月 株式会社コメットをグループ化
- 2016年 12月 名古屋営業所開設 (アクロス(株)より事業譲渡)
- 2018年 10月 日本ブレインズウェア株式会社を吸収合併
株式会社コメットをコムチュアネットワーク株式会社に統合
- 2019年 4月 ユーエックス・システムズ(株)をグループ化



1-5 成長の軌跡 -なぜ成長し続けたか？-

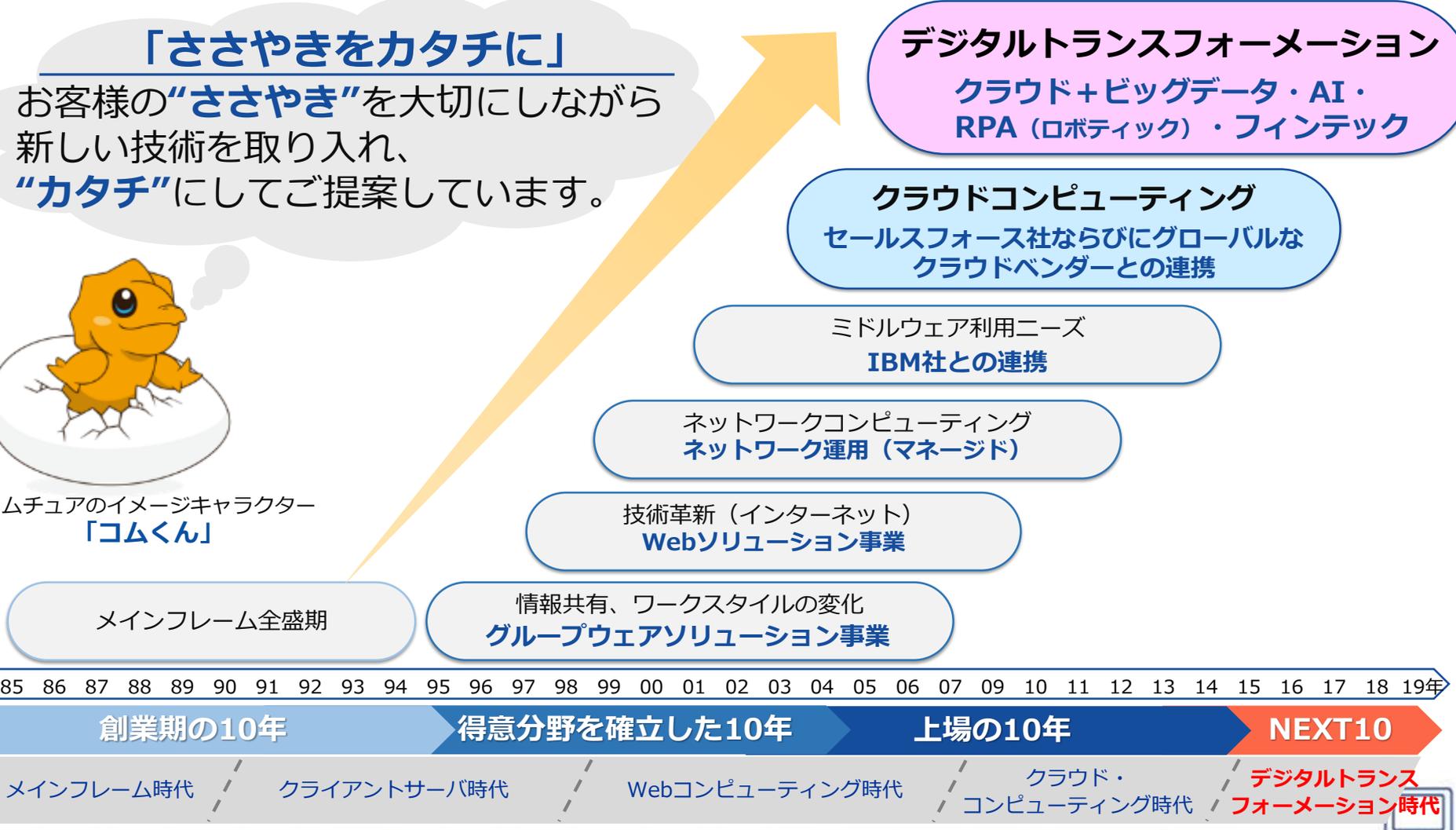
絶え間ないイノベーションに対応してきたから

「ささやきをカタチに」

お客様の“ささやき”を大切にしながら
新しい技術を取り入れ、
“カタチ”にしてご提案しています。



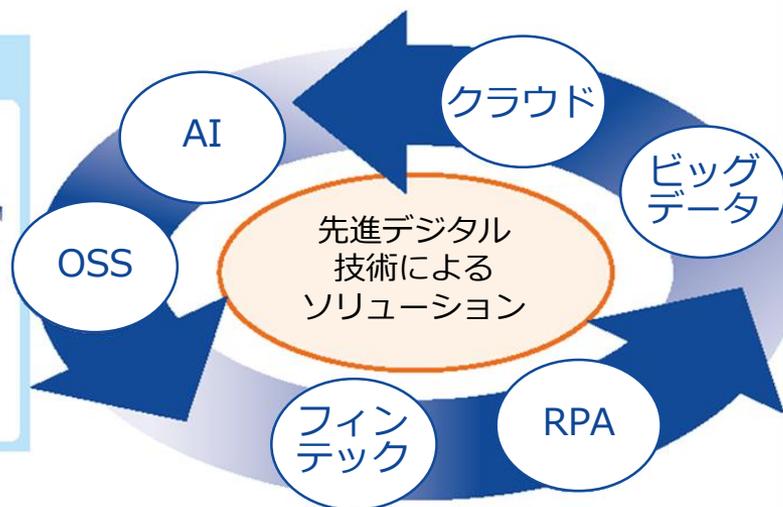
コムチュアのイメージキャラクター
「コムくん」



1-6 デジタルトランスフォーメーションへの取組み

デジタルトランスフォーメーション(DX)は、企業が最先端のデジタル技術を活用し、これまでの事業戦略やビジネス領域を根本から変えていくこと企業の業務プロセスの変革、売上と利益の拡大、ビジネスモデル変革や働き方改革を実現し、更には社会や企業の新しい価値を生み出す

デジタル・トランスフォーメーション



お客様の経営課題解決とイノベーション推進を積極的に進めてまいります

クラウド・デジタルソリューションで大手企業のIT化を支援

クラウド ソリューション事業

- クラウド上でのソリューション開発、クラウド基盤構築

デジタル ソリューション事業

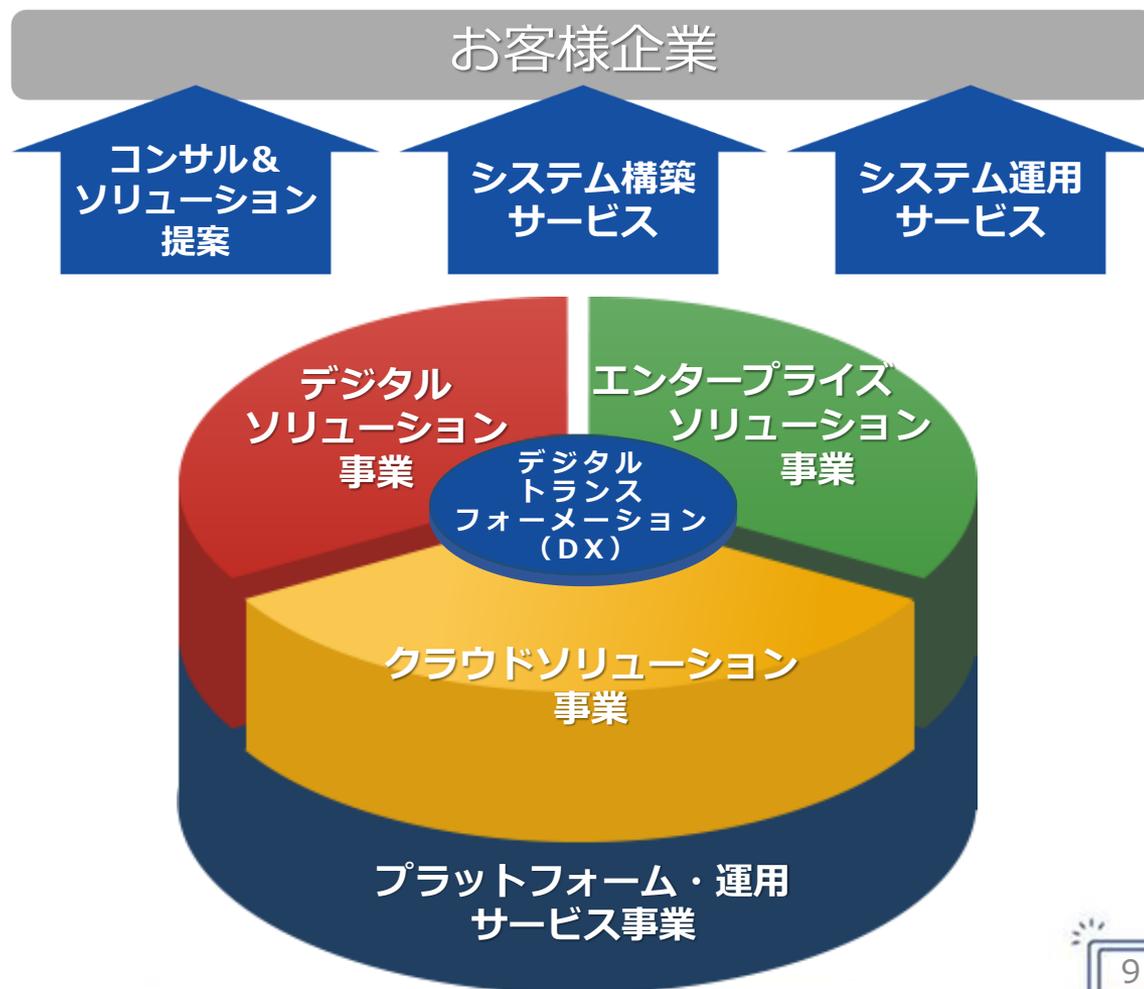
- データアナリティクス（ビッグデータ・AI）、RPA

エンタープライズ ソリューション事業

- ERP（SAP）、フィンテック、人事ソリューション

プラットフォーム・ 運用サービス事業

- サーバーインフラ構築、運用・マネージドサービス



1-8 主な取引先

業種・業態にかたよらない大手企業 全848社との取引

味の素 アメリカンホーム保険 イオン イトキン SMBC信託銀行 NTTドコモ
オリックス銀行 オリンパス 鎌ヶ谷市 キヤノン 京セラ 麒麟麦酒 クリナップ
京王電鉄 神戸製鋼所 国立がん研究センター コニカミノルタ 小松製作所
サッポロ GMOあおぞらネット銀行 ジェーシービー 清水建設 商船三井
住信SBIネット銀行 住友化学 住友電気工業 西友 セメダイン
ソラシドエア 損保ジャパン日本興亜 第一生命保険 大東建託 テレビ東京
デロイトトーマツ 東京スター銀行 東京電力 東芝 トヨタグループ
成田国際空港 日新製鋼 ニッポンレンタカー ニフティ 日本経済新聞社
日本国際協力センター 日本郵政 日本旅行 野村総合研究所 不二家 富士ゼロックス
ブックオフ 本田技研工業 丸紅 三井化学 三井住友銀行 三井不動産
三菱商事 三菱地所 三菱電機 メットライフ生命 モスフード 森永乳業
森ビル LIXIL リクルートグループ リコー 早稲田大学

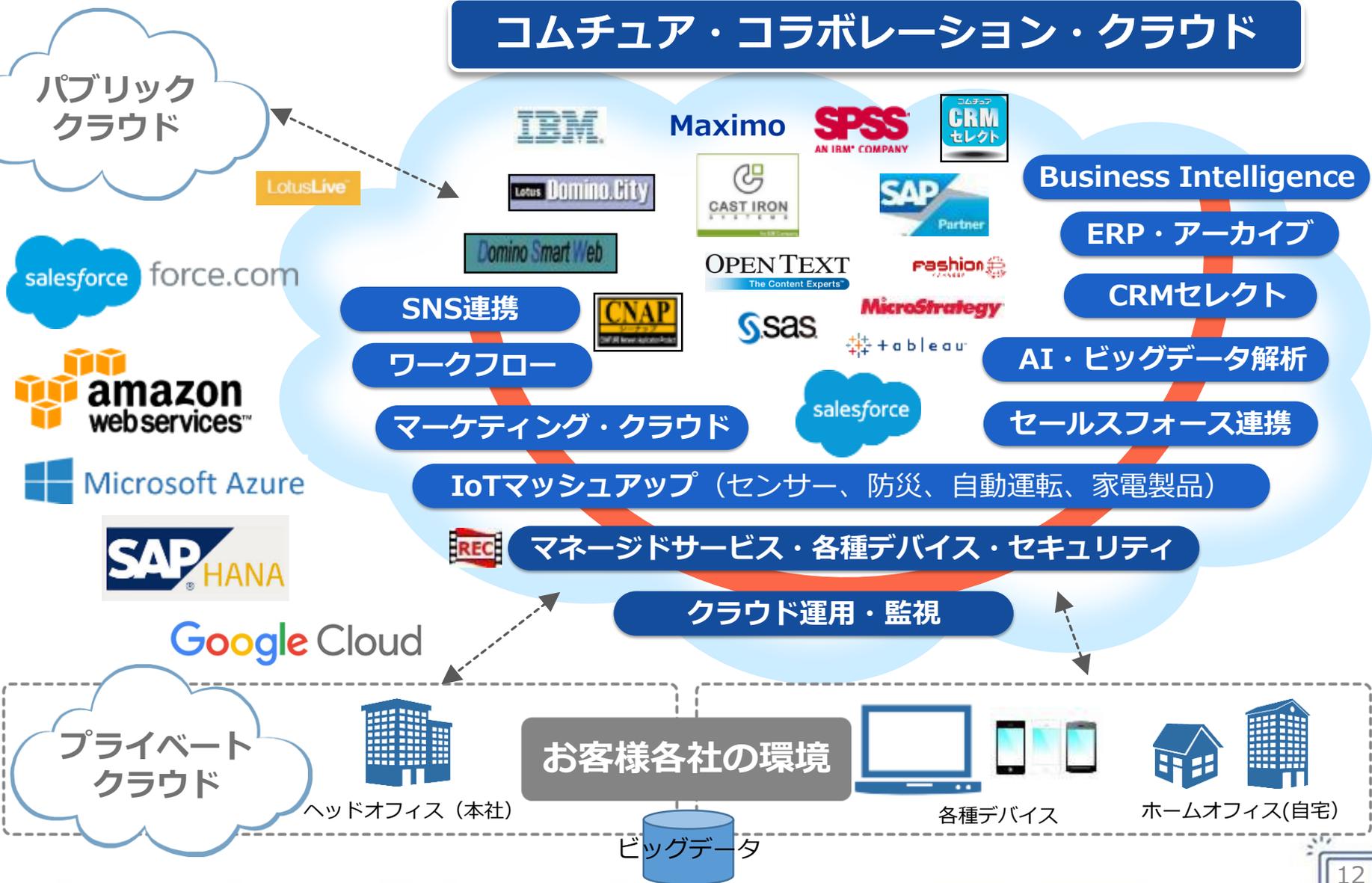
(50音順・2019年3月末現在)

2

事業内容

2-1 独自のサービス提供領域

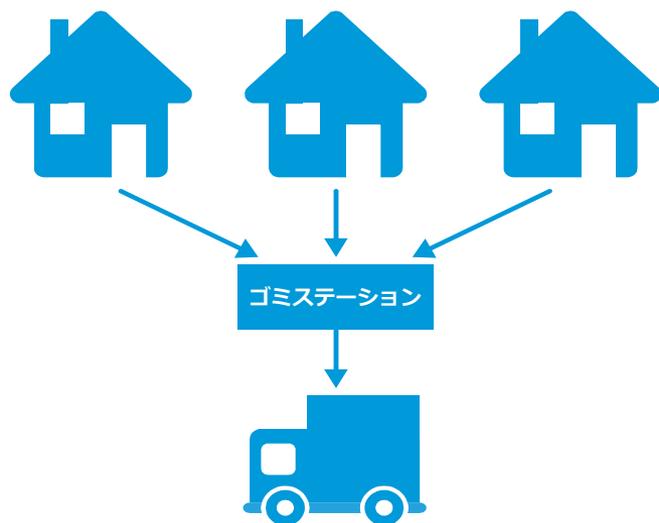
コムチュア・コラボレーション・クラウド



クラウドの事例：1 「ゴミステーション」管理ソリューション開発案件

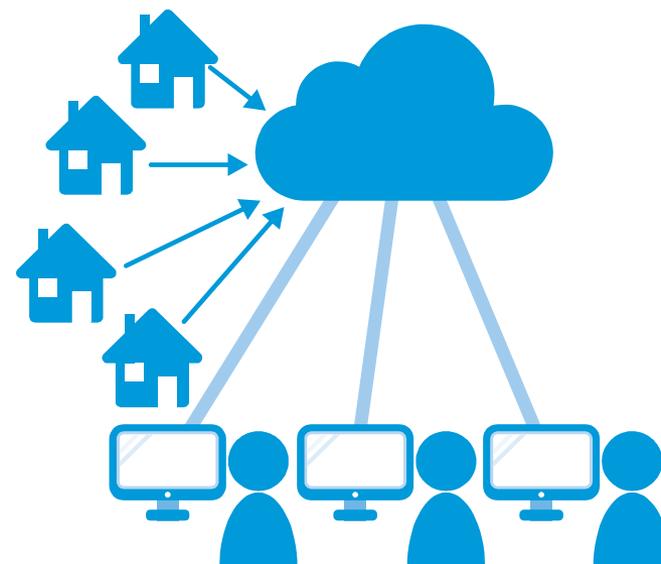
市、清掃業者、焼却センターそれぞれの手作業管理をクラウド上で一元管理
「ゴミステーション」の作業をクラウドで一元管理し作業効率が大幅改善。サービス向上に繋がる

Before



これまでの、市、清掃業者、焼却センターが
三者三様に手作業で管理

After

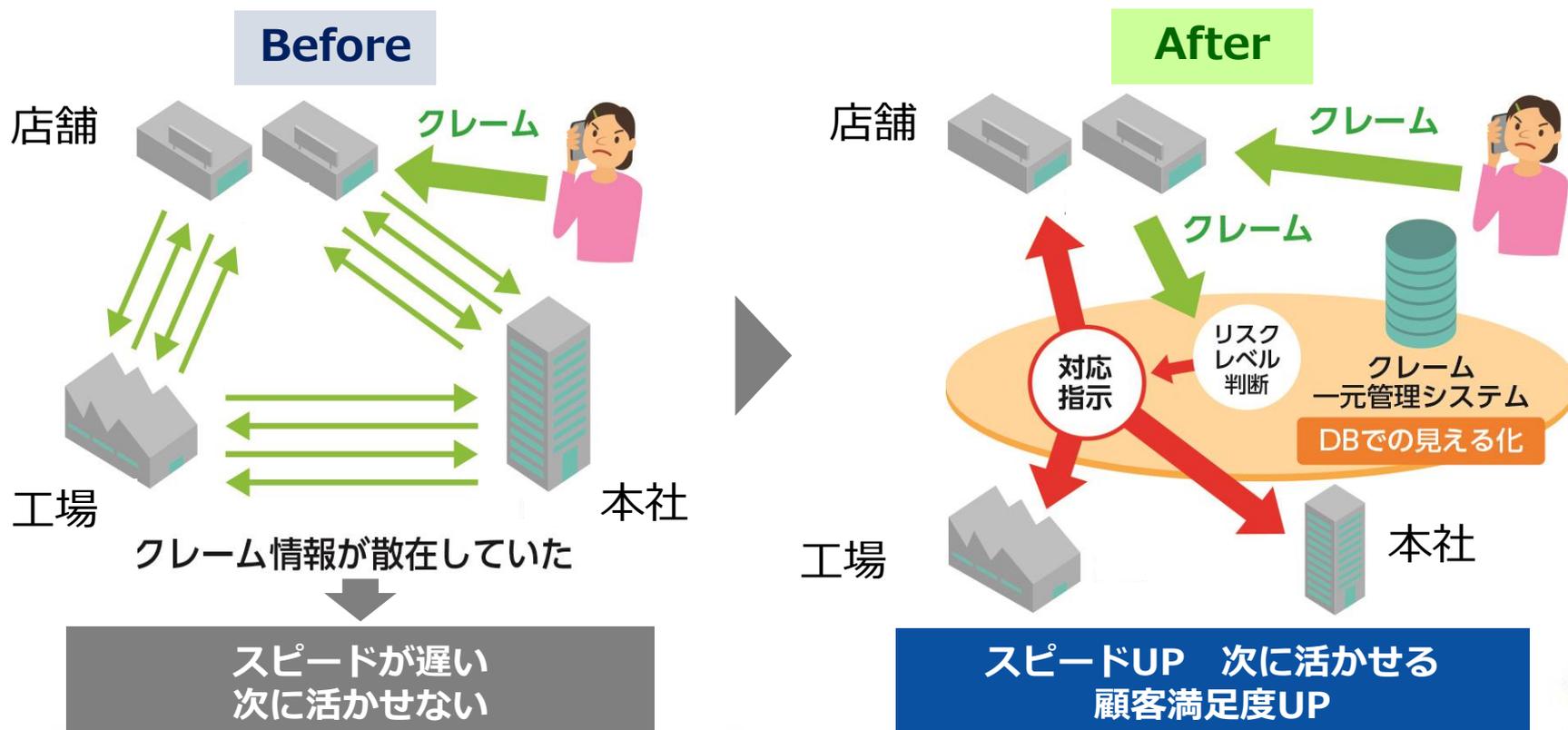


クラウドを使った一元管理で、作業効率の
大幅改善による市民サービスの向上

クラウドの事例：2 食品クレーム管理ソリューション

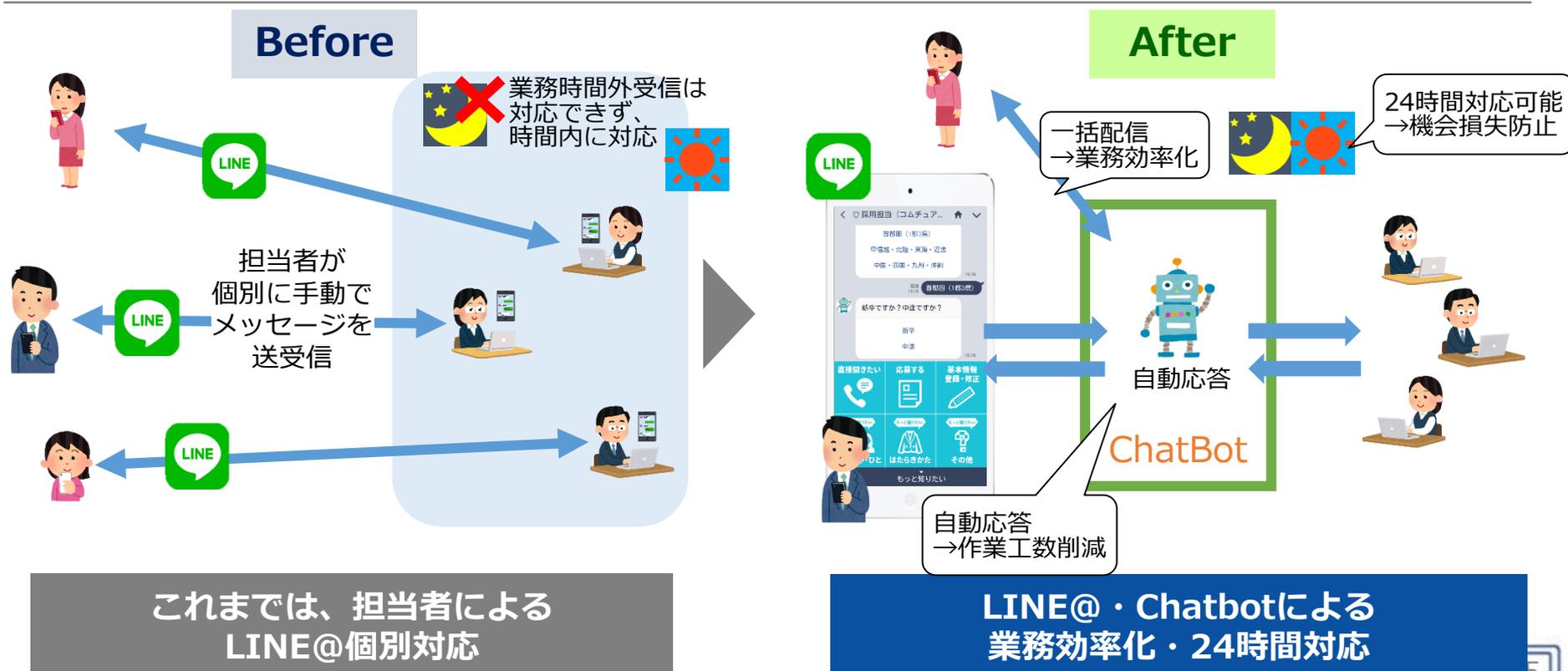
350店舗からあがってくるクレーム対応の見える化を実現。

店舗・工場・本社にクレーム情報が散在していたが、一元管理することで対応スピードがアップし、顧客満足度向上を実現



クラウドの事例：3 ChatBotを使用した自動応答

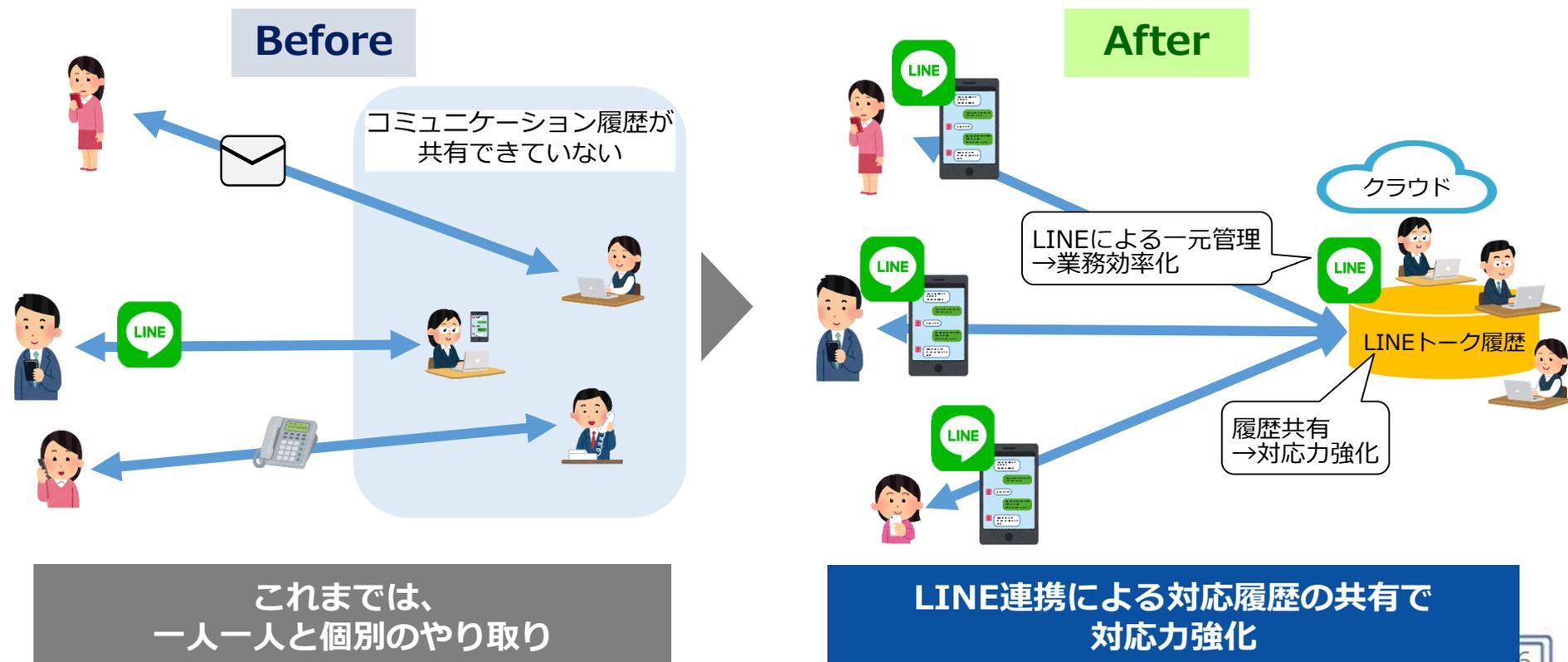
ChatBot（ロボット自動応答）連携により業務効率化・対応力強化を支援。
採用応募者（保育士）とのコミュニケーションについて、自動応答にて業務効率化24時間対応が可能



クラウドの事例：4 LINE連携による対応履歴の共有

コミュニケーション履歴の共有と対応力の強化を支援。

採用応募者とのコミュニケーションについて、一元化と履歴共有により業務効率化と対応力強化を図る



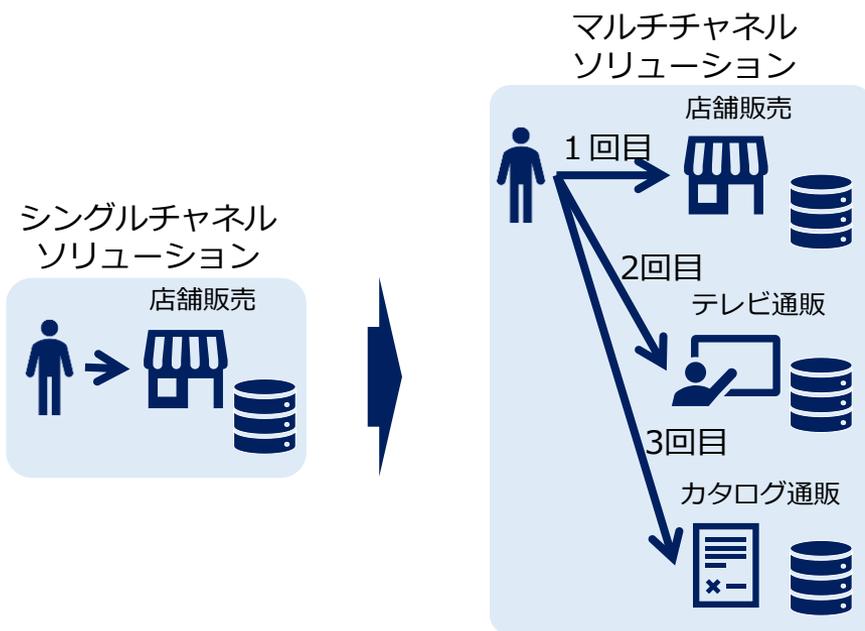
クラウドの事例：5

「いつでもどこでも」の買い物を実現するオムニチャネルソリューション

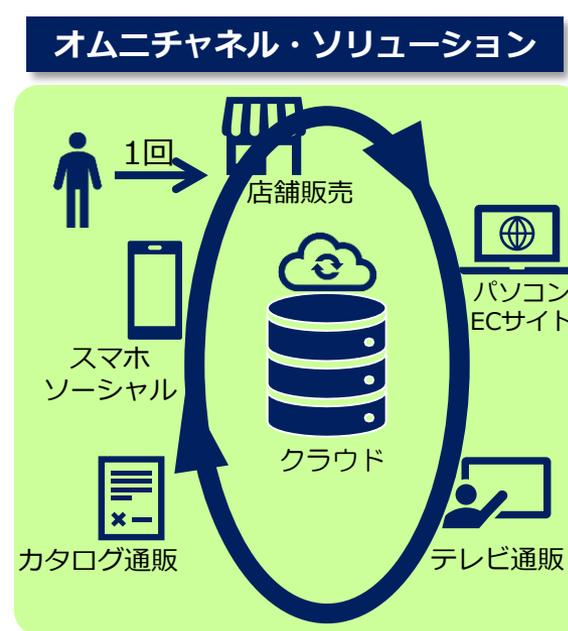
実店舗/テレビやカタログ通販/ECサイト/SNSなど複数の販売チャネル連携により「いつでもどこでも買い物」を実現。

複数の販売チャネル・媒体（PC、スマホ、テレビ、カタログ）を連携し、お客様満足度向上・売上拡大を実現

Before



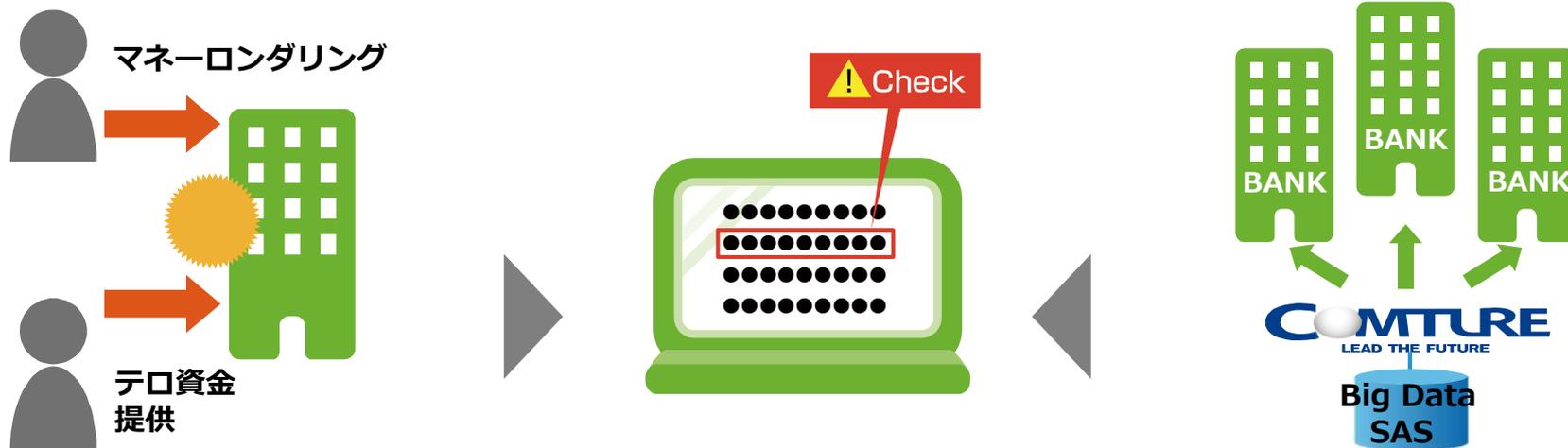
After



ビッグデータ・AIソリューションの事例：1 犯罪口座検知ソリューション

取引データ（ビッグデータ）の蓄積・分析により、犯罪取引を自動検知。

ビッグデータを活用した「取引モニタリング」システムにより、日々の取引データを蓄積・分析することで疑わしい取引を自動で検出

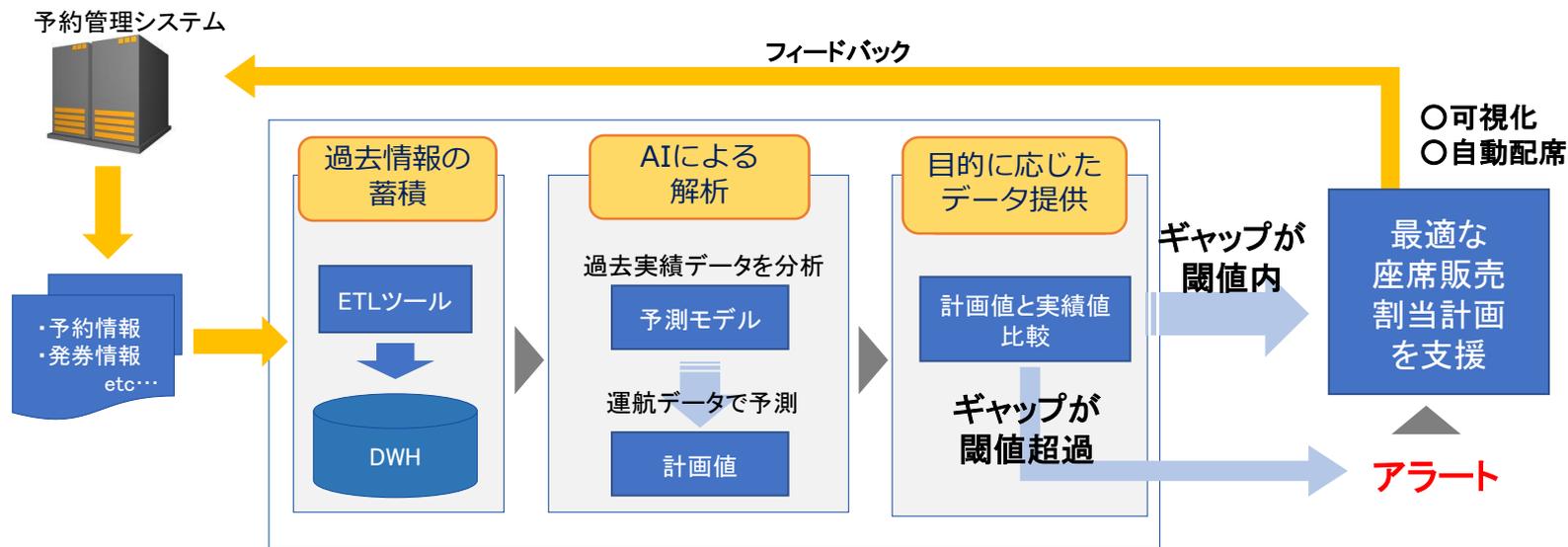


マネーロンダリング（資金洗浄）、テロ資金、密売などの犯罪取引の発生のリスクが増加

ビッグデータを基に金融機関における犯罪取引の早期検知・報告を可能にした

ビッグデータ・AIソリューションの事例：2 レベニューマネジメントシステム

蓄積している過去の大量な航空券の販売データ（ビッグデータ）をAIで分析。
AIが需要を予測し、販売の実績データと比較しながら、空席率を最小限に抑えるよう最適な価格設定を導き出すことで、収益の最大化を実現



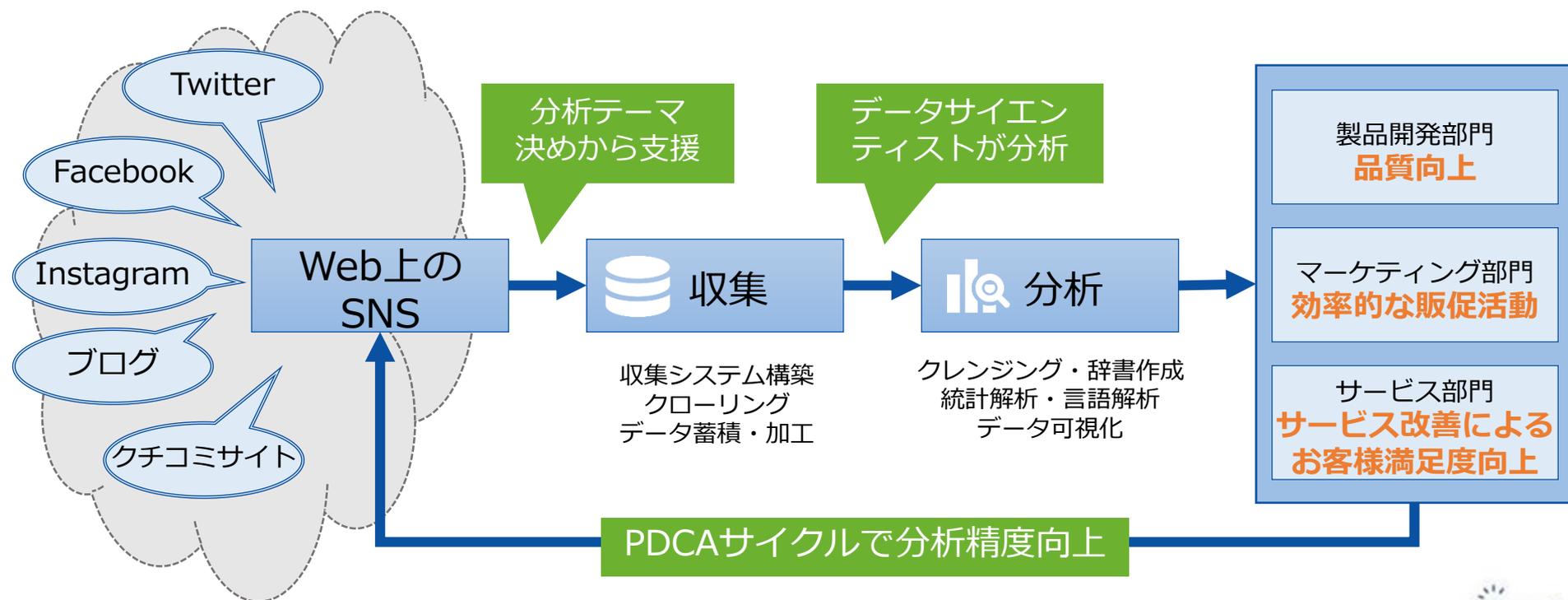
これまでは、担当者の勘と経験により需要予測を立て、販売価格を決定していた

導入後

過去の大量な販売データをAIで分析し、需要予測を作成。売上の実績に応じて、最適な販売価格を導き出す

ビッグデータ・AIソリューションの事例：3 ソーシャルメディア（SNS）分析ソリューション

SNSのクチコミや投稿データを分析し、品質向上や効率化・お客様満足度向上を実現。
データのクレンジング（関係のない障害データの削除）や辞書作成といった分析のノウハウにより、業務に活用できるデータを導き出し、より精度の高いSNS・クチコミ分析の仕組みを構築

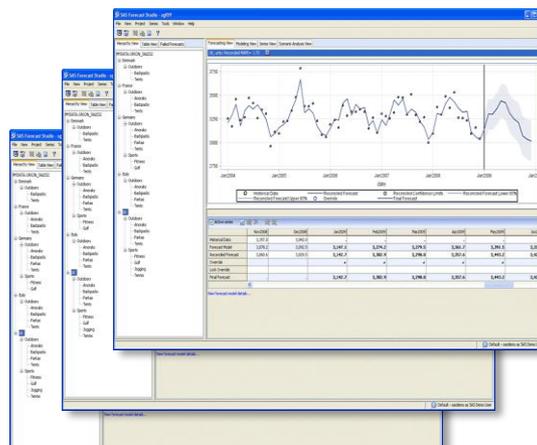
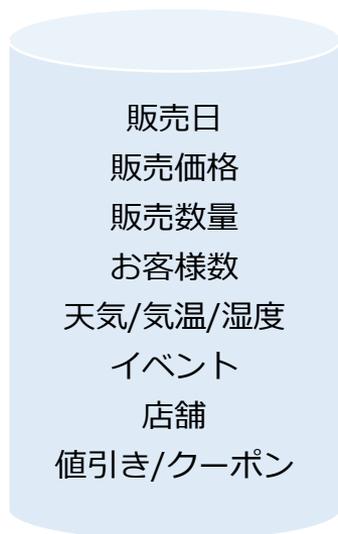


ビッグデータ・AIソリューションの事例：4 需要予測ソリューション

売れ筋商品の販売予測を行うことで在庫や欠品を最小限にして売上を向上。

予測された販売数量をベースに販売価格シミュレーションを行うことで、仕入れ数量／販売価格／販促イベントの設定等の販売施策を策定し、在庫と欠品の最小化／顧客満足度の向上／売上と利益の最大化を図る

ビッグデータ



分析結果

- 1 販売数量の予測
 - 日別
 - 店舗別
 - 商品別
- 2 販売施策の策定
 - 仕入れ量の決定
 - 販売価格の決定
 - 販促イベント設定

- 複雑で多量のビッグデータを高速で収集
- ビッグデータを様々な手法で正確に分析

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の事例：1 契約書の作成・承認・送付業務の自動化

手作業業務の自動化で、作業時間削減・入力ミスゼロを実現。

RPAにより、派遣契約の延長業務の大部分を自動化し、コスト削減・品質向上に繋げる

Before



データ入力

申請と承認

派遣元へメール

対象リストアップ・
契約情報の
コピー&ペースト

After



データ入力と
申請の自動化

人による承認

メールの
自動送信

人の手作業による派遣延長業務

（稟議書の作成、ワークフローによる申請、
派遣元へのメール送信）

RPAにより業務大部分を自動化

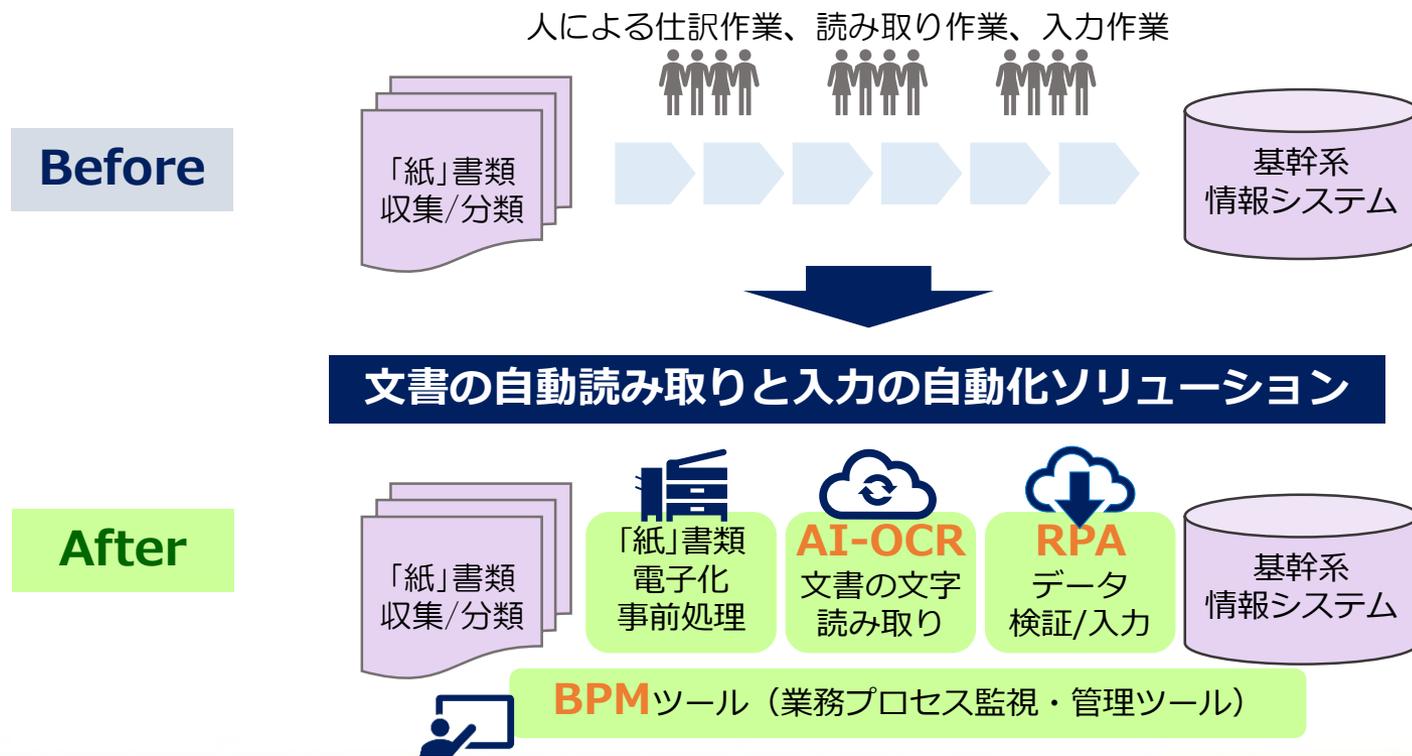
- ✓ 作業時間削減率80%
- ✓ 入力ミス・メール誤送信ゼロ

2-12 主たる事例 -RPA+OCR-

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の事例：2 AI-OCRと組合わせた文書の自動読み取りと入力の自動化ソリューション

手書き文書や印刷物の文字読み取りと入力を自動化することで作業を大幅削減。

AI-OCRにより読み取り／変換精度を向上させ、RPAやBPM（業務プロセス監視・管理）と組合わせることで、システムへの入力を自動化し、コスト削減や社員の仕事内容の高度化を図る



3

事業戦略

高付加価値化を軸とした成長と分配の好循環

高付加価値化
一人あたり売上 毎年 **5%**以上

労務費UP

3%

以上

従業員満足度
向上

投資

1.8%

以上

成長への
投資

利益

0.2%

以上

株主満足度
向上

コムチュア価格
(ブランディング)

コンサルティング・
提案力の向上

サービスの向上

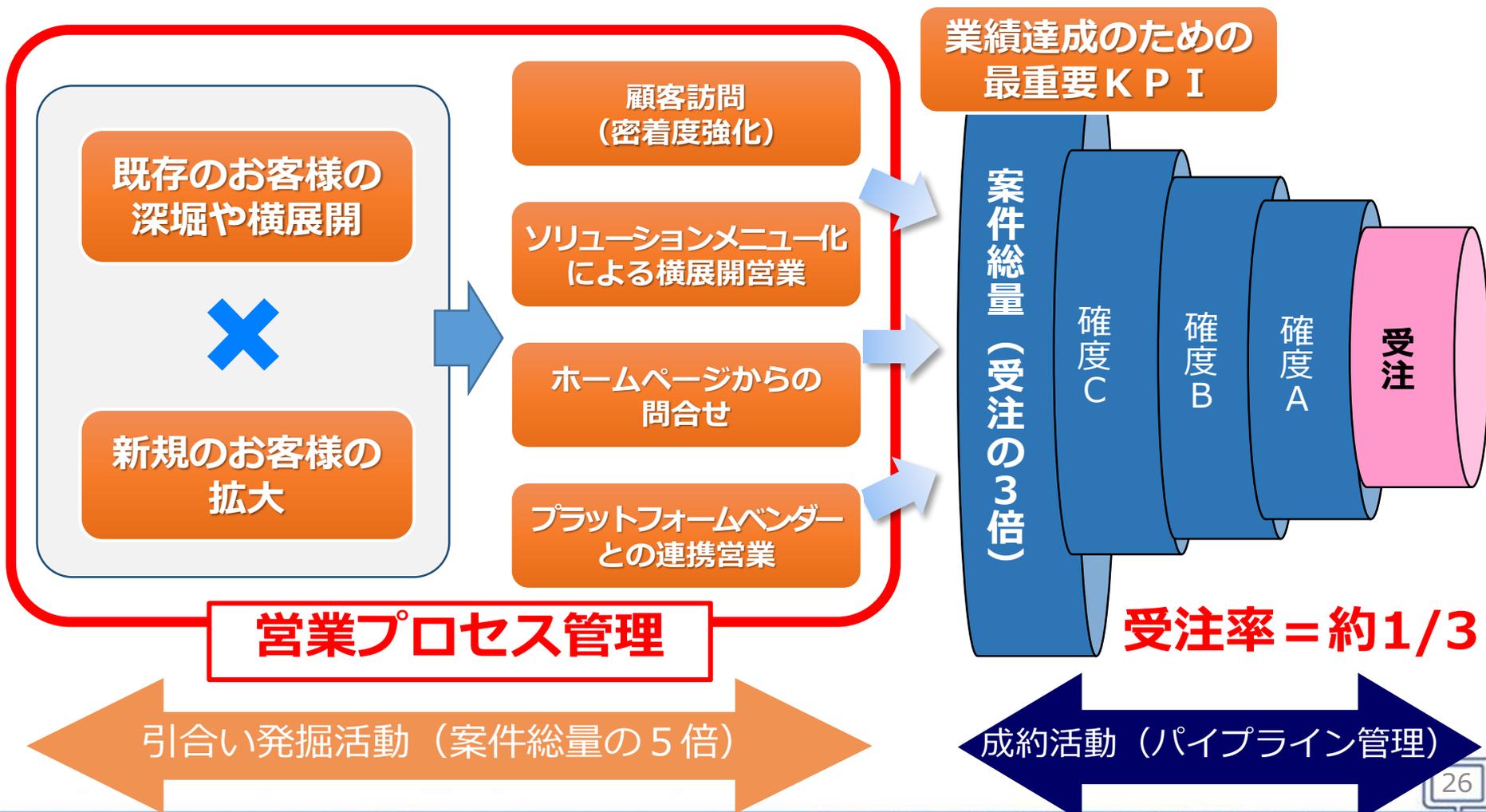
生産性の向上

新(得意)領域への拡大

働き方改革

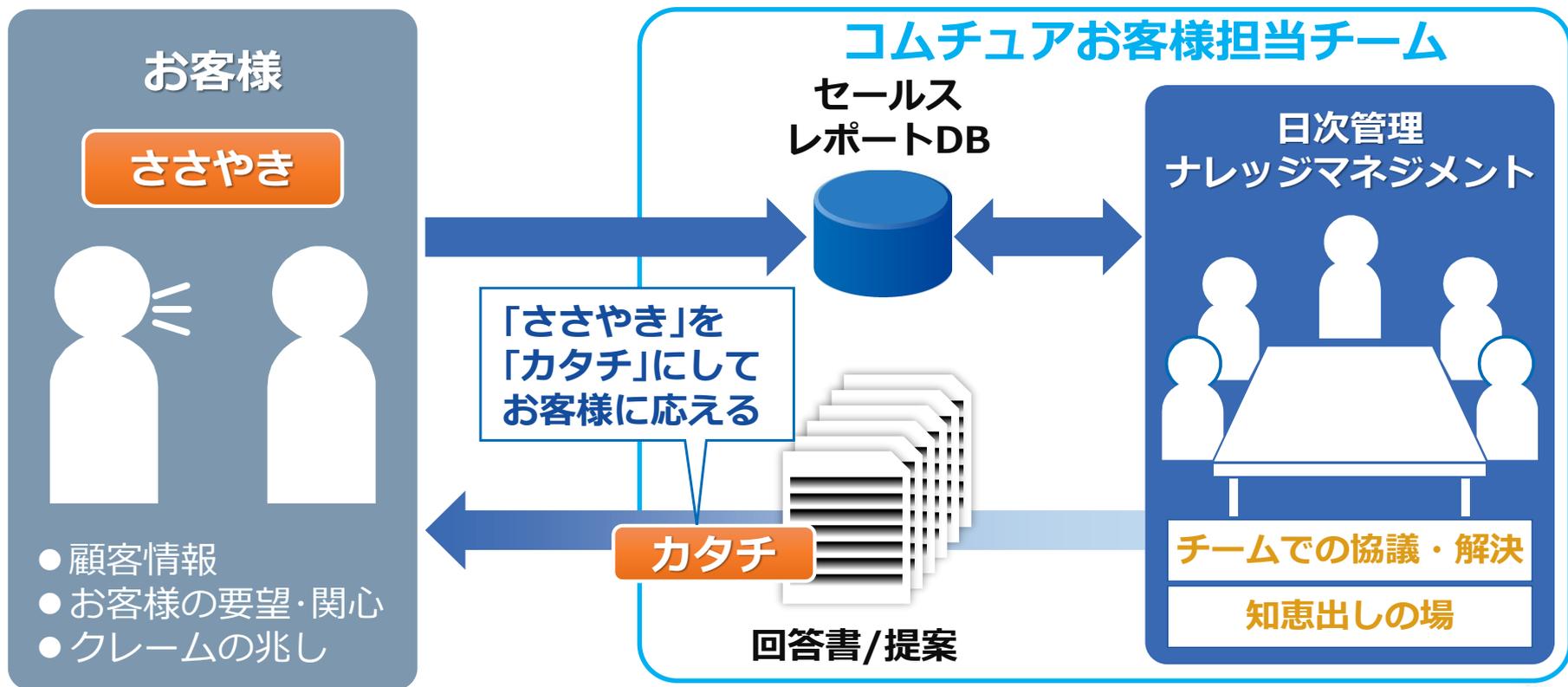
3-2 営業プロセス戦略

案件総量は受注の3倍 / 受注達成のための先行指標



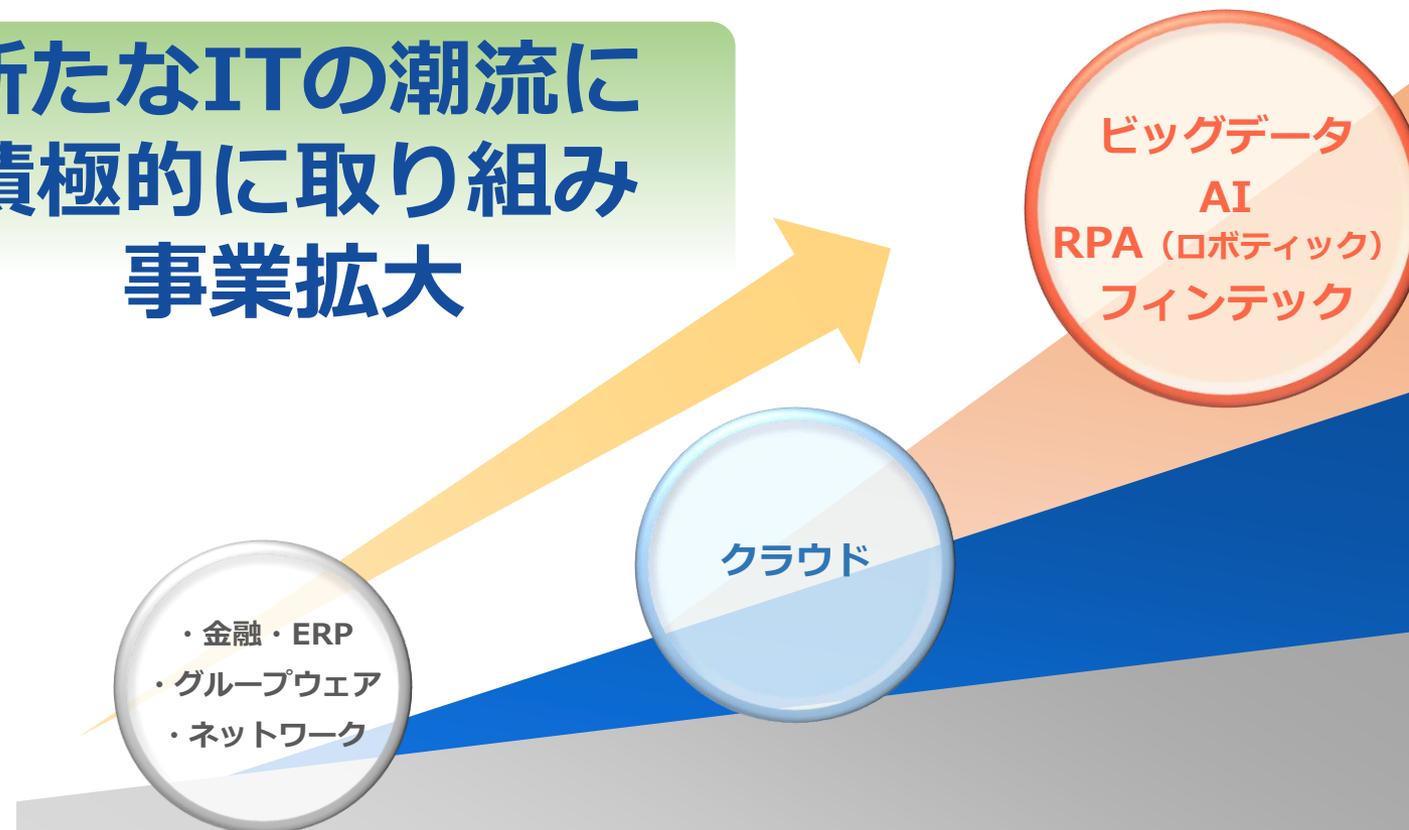
提案型営業力強化によるお客様満足度の向上

お客様に密着している社員（アカウントSE）がご要望（ささやき）を吸い上げ、チームで知恵出しを行い、提案（カタチ）にしてお応えします。



デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

新たなITの潮流に
積極的に取り組み
事業拡大



新たな領域

従来の領域

新分野への取り組みでビジネスを拡大

高付加価値化にむけた人材育成・人材補強

人材育成

クラウド	クラウド事業拡大のための業界トップクラスの資格取得 (Salesforce・SAP・AWS等) —資格取得者 335名—
ビッグデータ・ AI・RPA・ フィンテック	ビッグデータ・AI・RPA・フィンテック事業推進に向け、 データサイエンティストの早期育成 —資格取得者 306名—
提案力・マネジ メント力強化	新分野、新技術に対応した提案力、マネジメント力の強化 により、付加価値の高い提案をおこなう

人材補強

採用力の強化	人材は企業価値の源泉。継続的に優秀人材を獲得のための 採用基準のレベルアップを前提とする 2019年度 新卒：106名、中途：120名（予定） 2020年度 新卒：120名（予定）
--------	---

4

2019年3月期

決算概要

4-1 決算ハイライト (5月8日発表)

9期連続の増収と8期連続の増益で 過去最高を更新

	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		前年 同期比
	金額	率	金額	率	
売上高	16,383百万円	-	18,070百万円	-	+10.3%
営業利益	1,968百万円	12.0%	2,570百万円	14.2%	+30.6%
経常利益	2,010百万円	12.3%	2,575百万円	14.3%	+28.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,395百万円	8.5%	1,807百万円	10.0%	+29.6%
1株当たり 当期純利益	95.69円	-	122.49円	-	+28.0%

当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、前連結会計年度（2018年3月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株あたり四半期純利益を算出しております。

4-2 決算のポイント

売上高 前年同期比 **+10.3%**増収

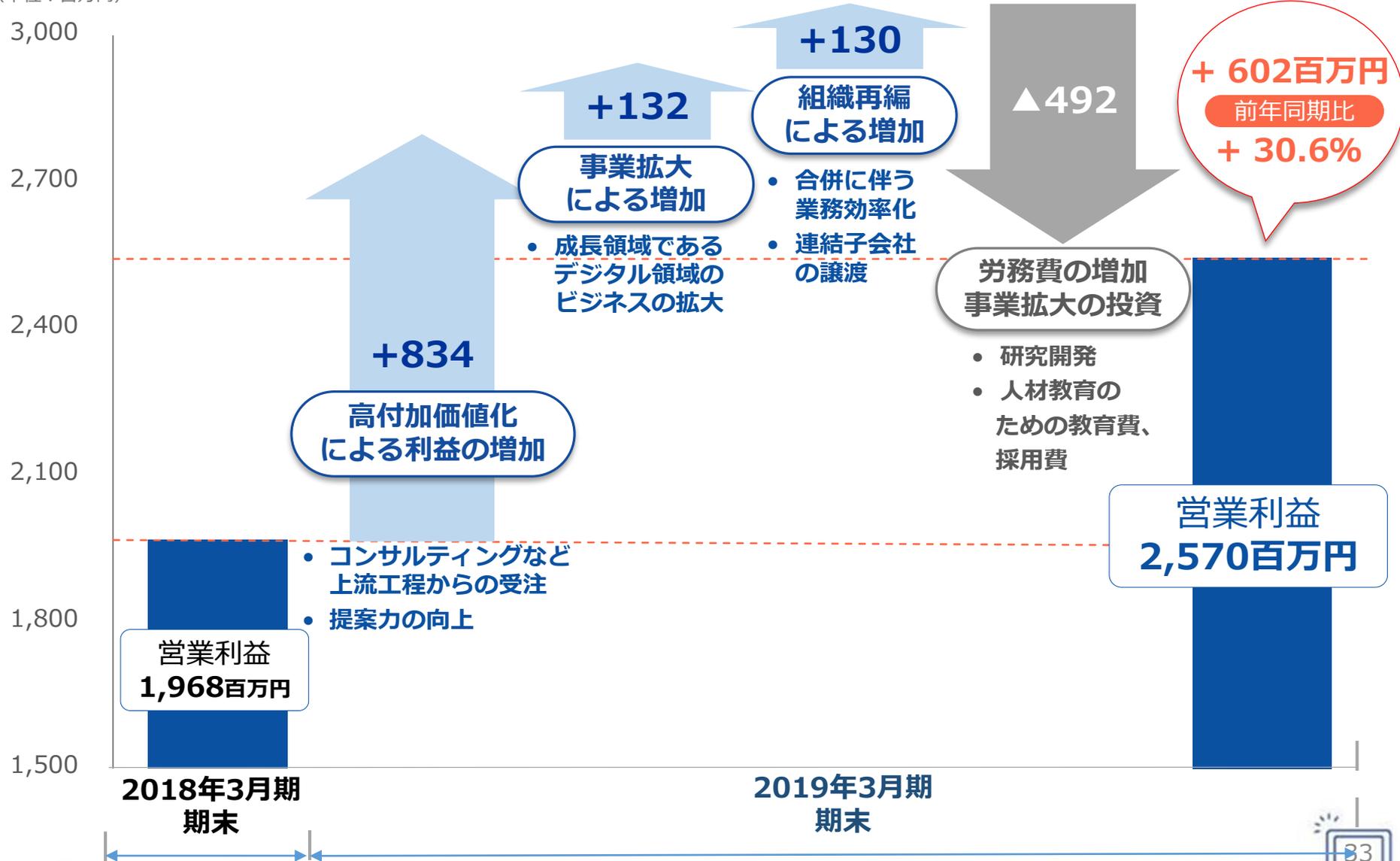
- + クラウド事業が前年同期比15.8%、8億3千万円増加（60.9億円）
- + デジタル事業が前年同期比16.9%、2億4千万円増加（16.8億円）
- + ERP（SAP）が前年同期比18%、2億円増加（12.9億円）
- 連結子会社の譲渡により、1億7千万円減少

営業利益 前年同期比 **+30.6%**増益

- + 高付加価値化戦略による一人あたり売上の増加（6.3%）による増益
- + デジタルトランスフォーメーション（DX）事業拡大による増益
- + 合併に伴う業務効率化、連結子会社の譲渡による販管費の削減
- 一人あたり労務費の増加、事業拡大強化のための投資

4-3 営業利益増減要因

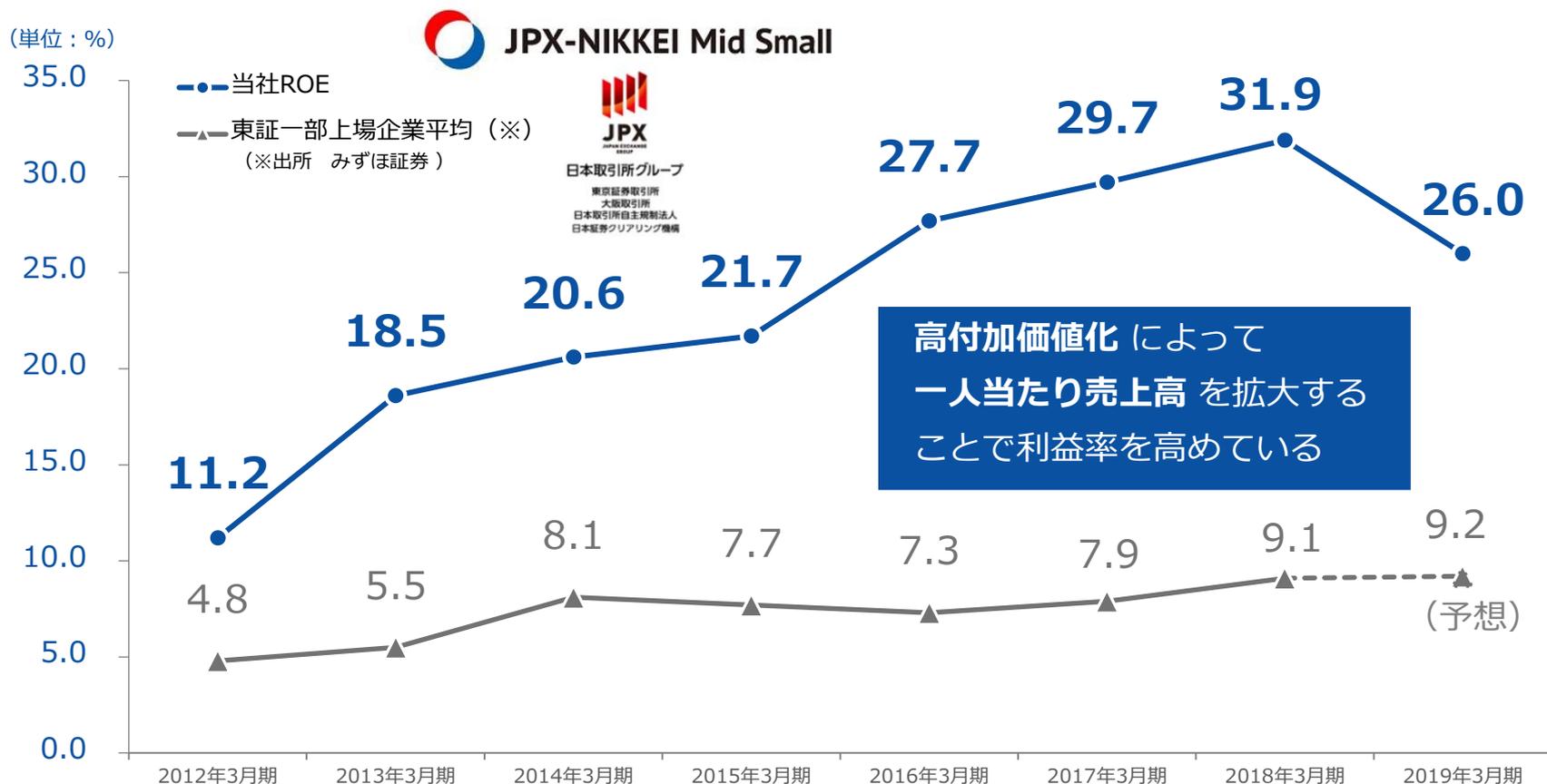
(単位：百万円)



4-4 高収益性 ROE (当期純利益/自己資本)

ROEは 20%以上の水準を目指します

前期に引き続き、ROEは東証一部上場企業平均を大きく上回っております。



5

2020年3月期

業績見通し

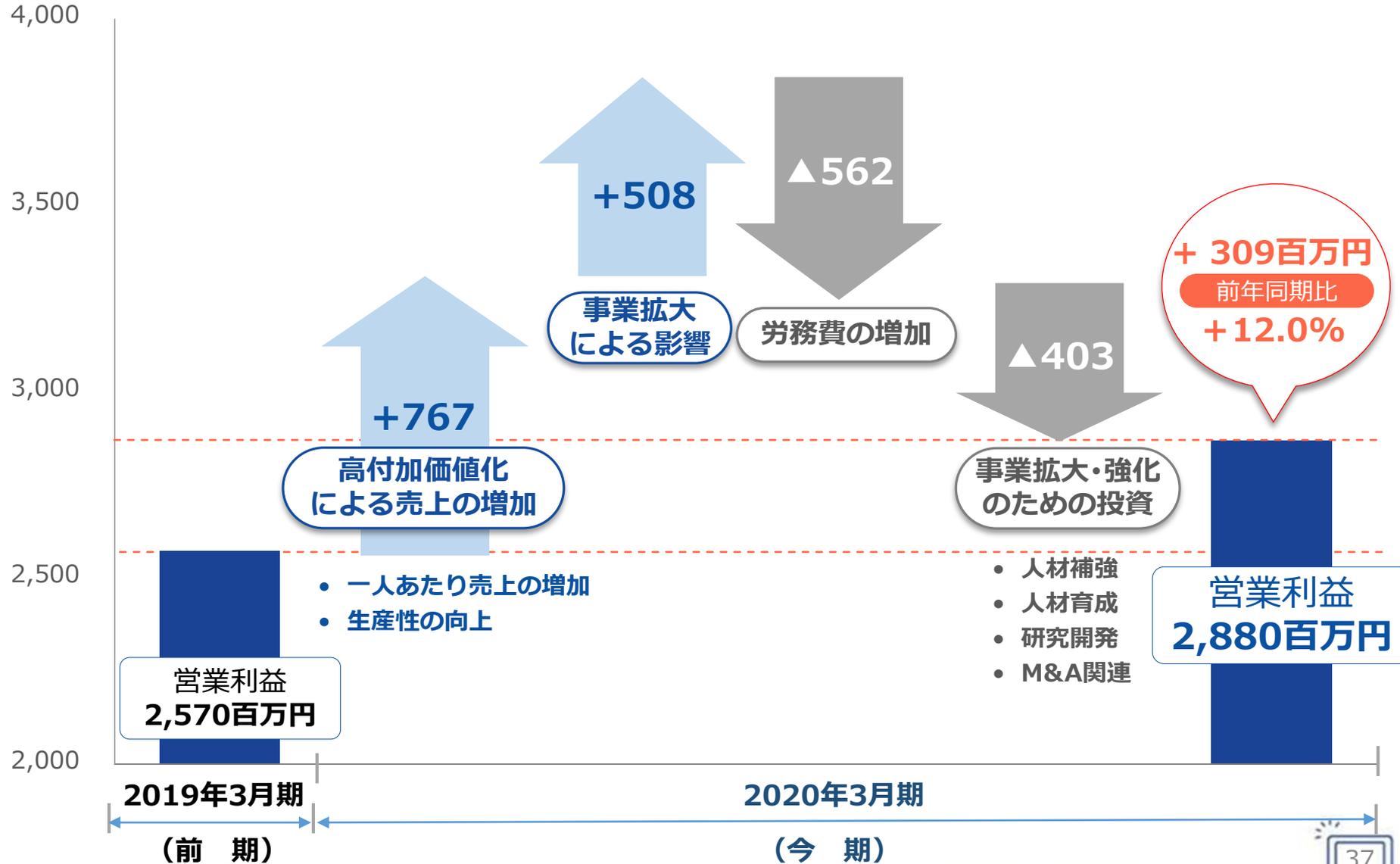
5-1 2020年3月期 通期業績予想

10期連続の増収と9期連続の増益で
過去最高を目指す

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想		前年 同期比
	金額	率	金額	率	
売上高	18,070百万円	-	20,000百万円	-	+10.7%
営業利益	2,570百万円	14.2%	2,880百万円	14.4%	+12.0%
経常利益	2,575百万円	14.3%	2,874百万円	14.4%	+11.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,807百万円	10.0%	2,021百万円	10.1%	+11.8%
1株当たり 当期純利益	122.49円	-	129.35円	-	+5.6%

5-2 営業利益増減要因 通期予想

(単位：百万円)



6

トピックス

明確な経営指標・業績達成力に対する外部の評価

東京証券取引所
企業価値向上
表彰候補

50社

約3,600社

東京証券取引所
JPX日経中小型
株指数銘柄

(3年連続)

200銘柄

約2,900銘柄

フォーブスアジア
Best Under
A Billion

(優良小型上場企業)

200社※38社

約24,000社

※日本企業

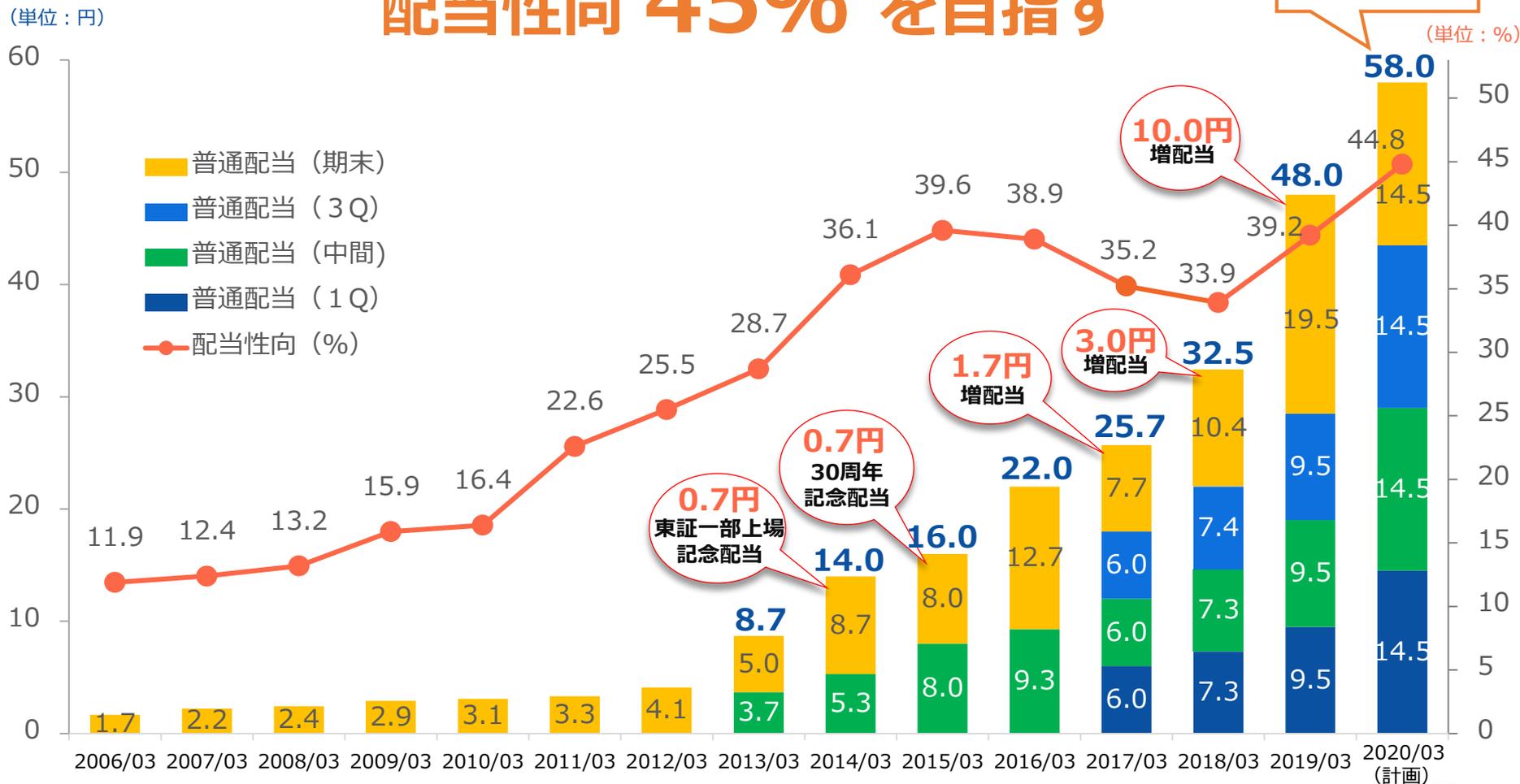
評価基準：

- ・ 高付加価値化経営
 - ・ 高収益企業
 - ・ 高配当性向
- 一人当たり売上高 **毎年5%以上アップ**
高ROE、高営業利益率

7

株主還元

15期連続増配計画 配当性向 45% を目指す



2017年10月1日付けで1株につき3株の株式分割を行いましたので、2018年3月期第2四半期以前の配当金額につきましては、当該株式分割に伴う影響等を加味した遡及修正値を使用しております。

四半期配当制度 を導入しております

安定経営により四半期業績も安定しているため、
年4回の配当を実施してまいります。

配当支払いスケジュール

	配当金受領株主確定日	配当支払い開始日（予定）
第1四半期配当金	2019年 6月30日	2019年 8月30日
第2四半期配当金	2019年 9月30日	2019年11月29日
第3四半期配当金	2019年12月31日	2020年 2月28日
第4四半期配当金	2020年 3月31日	株主総会における承認日の 翌営業日

株主優待策として 株主優待制度を導入しております

年2回、9月末・3月末に300株以上保有の株主様に対し、1,000円のクオカード（年間2,000円）を贈呈いたします。

- * 配当17,400円＋クオカード2,000円＝年間19,400円
- * 2020年3月期の優待込みでの総配当性向は50.0%となります（300株保有の場合）



むすび 「会社の標語」

お客様には “感動” を
社員には “夢” を

株主様にも

“感動” と “夢” を



ご清聴ありがとうございました

IR情報はこちらから！



コムチュア（株）IRページへ

決算説明動画はこちらから！



コムチュア（株）YouTubeチャンネルへ

- 本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を補償するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



本資料に関するお問い合わせ

コムチュア株式会社 経営企画本部経営企画部（IR担当）

電話：03-5745-9702

E-mail：ir-info@comture.com